

6/18 公明党「明日香村保存・整備プロジェクトチーム」

参議院議員会館（東京都）で、公明党「明日香村保存・整備プロジェクトチーム」（石川博崇座長）が、杉久武事務局長の司会のもと開催されました。

森川村長、石田議長が出席し、下記の要望書をプロジェクトチームの皆さまに手渡しました。

▶ 要望項目

- ・ 高松塚古墳壁画保存管理公開活用施設（仮称）と国営飛鳥歴史公園高松塚周辺地区の一体的な施設の早期整備
- ・ 世界遺産登録を見据えた展示の充実に対する支援
- ・ 安全で快適な来訪交通環境の確保とオーバーツーリズム対策
- ・ 京奈和自動車道を中心とした広域的な周遊観光の推進
- ・ 明日香村歴史的風土創造的活用事業交付金による継続支援



▲要望書の手交

石川座長からは、「いよいよ世界遺産登録について審議がなされるが、登録がゴールではない。登録後、日本が誇る歴史的遺産を後世に伝える取り組みが始まると考えている。今日まで『明日香村保存・整備プロジェクトチーム』として『飛鳥・藤原の宮都』の世界遺産登録の支援に取り組んできたが、これからが本番という思いで各関係機関と連携して取り組みたい。」と挨拶がありました。5名の国会議員からは、世界遺産登録推進の取組等についてご意見をいただきました。

そのほか、森井世界遺産室長（奈良県）、片山公園緑地・景観課長（国土交通省）、三輪文化資源政策・記念物課長（文化庁）、灘波国際文化協力室長（外務省）から、世界遺産登録推進の取組や明日香村の取組に関する報告がありました。

7/1~ 第76回社会を明るくする運動

毎年、保護司会を始め村内の各団体の皆さまにご協力いただいている「社会を明るくする運動」強調月間の啓発事業を実施しました。

今年度は、事業者や学校等への巡回広報、村内の園児・児童・生徒に作成いただいたのぼり旗の設置等を行いました。ご協力いただきました皆さまに心から御礼申し上げます。

▶ 旗の作成に協力してくださった園・学校

明日香保育園・明日香幼稚園・明日香小学校・聖徳中学校



▲飛鳥駅前ののぼり



▲子どもたちがのぼりを作りました

6/11 観光方位盤を寄贈いただきました

国際ソロプチミスト奈良 - あすか様のご尽力により、飛鳥寺西側広場で除幕式が行われ、観光方位盤を寄贈いただきました。

本寄贈の財源に向けて、昨年12月に「チャリティー Live & Talk 万葉の宴」を開催されました。「日本のふるさと飛鳥」から「世界の飛鳥」への想いを込め、世界遺産登録を目前に控えた村の観光振興に役立ててほしいとの願いが込められています。



▲除幕式での集合写真

6/10 車の中から SOS ! バスの閉じこもり特別訓練

明日香保育園の3歳児～5歳児クラスの子どもたちが、バスや自家用車に取り残された時を想定して、助けを求める訓練を実施しました。

子どもたちは紙芝居で学んだ後、保育園バスを使って、お尻や水筒等の固いものでクラクションを鳴らすなど助けを呼ぶ練習をしました。

▶ 助けを呼ぶ4つの方法

- ①大きな声で3回助けてと叫ぶ
- ②三角マークを探してボタンを押す。(ハザードをつける)
- ③バスに備え付けの電動ホイッスルを鳴らす
- ④クラクションを鳴らす

ハザードのついた車やクラクションは、子ども達の SOS かもしれないと気にかけてください。



▲紙芝居での学習



▲クラクションを鳴らす練習



幼小中一貫教育推進だより



明日香小学校の特色ある教育活動

国語科モジュール学習の実施

週1時間の授業を、毎朝10分の「学びの時間」として分割実施しています。短時間学習を反復継続することで、漢字や語彙の定着と読書習慣の形成を図り、基礎学力の向上と自学自習の育成を推進しています。



郷土学習プログラム

郷土の自然や歴史、民俗的な文化等を中心に、体験学習を積極的に取り入れ、個々に課題意識を持ち、自分で考え、自分の言葉で表現できる力と郷土愛を育てています。



英語教育

言語や文化について体験的に理解を深め、英語のリスニング・スピーチや基本的な表現に慣れ親しみながら、コミュニケーション能力の素地を養っています。



楽スポあすかとの協働

学校と総合型地域スポーツクラブが協働して児童の体力向上・健康増進に取り組んでいます。陸上教室・体操教室等で、専門的な知識を有する指導者と教員が連携しながら、基礎体力の向上や運動する楽しさを伝えています。



問 トータルケアステーションにおいて、人材確保についてどう考えているか。(檜前)

答 10数年かけて明日香村社会福祉協議会の役割を見直し、地域福祉に特化した専門性の高い職員を採用してきた。役場の職員においても、健康こども福祉課を中心に、社会福祉士、保健師等を配置し、専門性を強めている。また、トータルケアステーションには医師の存在が欠かせないが、近くに医大があるというメリットを活かし、村に研修医として来ていただく取組を実施し、関係性を構築することで、医師の確保に繋がっている。以前に比べ、村の国民健康保険診療所を利用する患者数も増加しているほか、各家庭の見守りも実施している。今後も継続して人材確保に取り組む。(村長)

問 飛鳥駅は無人駅のため、外国人観光客が電子チケットやICカードを利用できない等のトラブルがあった際には、橿原神宮前駅に連絡するが、対応に時間がかかる。世界遺産登録に向けて、飛鳥駅を有人化できないか。(阿部山)

答 飛鳥駅を含め、吉野線の利用者は減少傾向にあるため、近鉄に相談したが難しいとの回答を受けている。世界遺産登録後に訪れる外国人観光客への対応について、村内の事業者と相談・協力しながら進めていく。また、橿原市や桜井市と連携しながら周遊ルートの工夫も考えられる。様々な場面を想定し、在り方について考えていく。(村長)

▶その他意見

- ・車座で出された村民の意見に対して、村から検討すると返答があったものについては結果や進捗を報告してほしい。(真弓)(下平田)
- ・企業誘致に関し、仮契約まで実施したがなくなった件については、その土地を企業誘致地区に指定する前に所有者の承認は得ていなかったのか。何度も足を運ばれた企業を気の毒に感じる。(真弓)
- ・「道の駅あすか」を充実させてほしい。(真弓)

- ・真弓橋～飛鳥駅にかけて、高取川の桜が枯れてきている。また、車道に枝が伸びてきているため、事故になる前に対応してほしい。

(真弓)(地ノ窪)

- ・健康福祉センターに室内プールを建設してほしい。(檜前いおり野)
- ・安全に走行できる自転車道の明示と誘導をしてほしい。(檜前いおり野)
- ・特定外来植物(オオキンケイギク)、外来生物(クビアカツヤカミキリ)の被害が目立つため、対応の検討と広報等による注意をお願いしたい。(檜前いおり野)
- ・飛鳥の中心地だけでなく、周辺地域の紹介を充実し、海外旅行者に来ていただけるようにしてほしい。(檜前いおり野)
- ・農業用水路の老朽化が著しいため、点検補修をお願いしたい。また、一部の用水路は設置当時の手抜き工事により水が抜けており、田んぼに十分な水が入らないので早急に対応してほしい。道が寸断されてしまう可能性もある。(地ノ窪)
- ・地域住民の高齢化が激しく、景観保全作業が負担になってきている。若手世代の人数も少なく、今後さらに厳しくなることが予想されるため対策してほしい。(地ノ窪)
- ・星野リゾートがオープン予定であるが、現状の道路は歩道部がほとんど無く狭いため危険に感じる。また、ホテルから遺跡等への動線がスムーズになるように、周辺の整備をしてほしい。(地ノ窪)
- ・世界遺産の登録に際し、来村される方々をおもてなしの気持ちで迎えられよう、目指す将来像を描きながら計画的に進めてほしい。(下平田)
- ・未実施の案件について問い合わせると、予算がないので今年度はできないと回答されることがある。広報に掲載の「財政事情の公表」を確認すると未執行額が多くあるように感じるため、予算が残っているのであれば実施してほしい。(下平田)
- ・檜前の都市計画道路に関しては、目的や意義、弊害などを議論した上で可否を判断してほしい。(下平田)

5/30 車座集会（明日香座）開催

▶日時 5月30日（土）

▶対象大字

御園・檜前・檜前緑ヶ丘・檜前緑台・檜前いおり野・阿部山・大根田・栗原・上平田・中平田・下平田・南平田・越・真弓・地ノ窪



問 トータルケアステーションに関する資料内の明日香村人口ピラミッドについて、今の数字が知りたい。（檜前いおり野）

答 今回示した数字は令和2年のデータとなっている。令和7年の国勢調査の結果が分かり次第、案内する。（村長）

問 明日香村社会福祉協議会と村との協力体制について、どのように棲み分け・協業をしているのか。（檜前いおり野）

答 日常生活支援の充実やコミュニティーの活性化など地域福祉分野は、明日香村社会福祉協議会に重点的に取り組んでいただいている。また、買い物支援や移動支援、昨年からの試験的に実施中の地域食堂事業のような居場所づくりの多様化に関わる事業についても、行政と連携しながら明日香村社会福祉協議会で実施いただいている。加えて、社会福祉士等の専門性の高い職員により相談窓口や伴走支援も担っている。今後は、トータルケアステーションづくりの中で、利用しやすいように健康福祉センター内の玄関近くに事務所を配置することも検討している。（健康こども福祉課長）

問 飛鳥ハーフマラソンについて、議会だより6月号に小中学生の沿道応援は欠席率が高いと記載されていたが、日曜日開催は月曜日が振替休日となるため、保護者にも負担のない持続可能な取組をお願いしたい。（檜前）

答 幼小中の一貫教育の中で情操教育や郷土愛を育成する絶好の機会と捉えている。また、世界遺産登録に向けて、明日香を応援していただいている全国から集まったランナーの姿を子どもたちに体感してもらいたいと考え、学校行事として取り組んでいる。今後、時間も含めて実施方法等について検討していく。（教育長）

問 国道から地ノ窪へ通じる道の踏切付近で電車の写真を撮る方を見かける。道が狭く、崖になっているため危ない。土日には集団で7、8人程いる場合もある。実態を確認のうえ、対策してほしい。（地ノ窪）

答 現状を確認のうえ、総務財政課が対応する。（村長）

問 檜前の都市計画道路について、どのように考えているのか。進捗等あるか。（檜前）

答 檜前線においては、7、8年前に地元総代や県等と協議したが、用地確保の面で課題が多く、実現していない。時間をかけて検討していく。（村長）

問 10年間の世界遺産関連に費やした総額を教えてください。（檜前）

答 平成19年に暫定一覧表に記載された時点から、県・2市1村で協議会を設置し、登録に向けた取組を行ってきた。村が協議会に負担した令和7年度までの総額は、約6,750万円である。（世界遺産戦略課長）